

図書館情報

—読書とは知らないことを知ること—

●本に関するお問い合わせ 本館 73-1616
清和 82-3033
蘇陽 73-2755

『2月のおすすめ図書』

農業書コーナー紹介

今号では図書館で利用も多く、関心の高い農業書の特集します。山都町は農業の町という事もあり、図書館には約7000冊の農業に関する本が所蔵されています。まだみなさんの知らない可能性が図書館の本にかくれているかもしれません。ぜひ、農業書コーナーをご活用ください。



「ヒメ、農民になる—農業をしたい女性に贈る初めての就農ガイド」

農山漁村文化協会 分類611

新規参入女性で法人就職、独立就農、跡取り娘、結婚によって農業に就いた女性…「ヒメ」たちの力強く熱い農業生活を紹介します。私たちの「食」を支えてくれている女性はこんなにも頼もしい！ 就農はしていないけれど、「食」に関心のある方にも是非読んで頂きたい一冊です。



「お役に立つ生き方」

木村 秋則 (きむら あきのり) 東方出版 分類611

完全無農薬でリンゴの栽培に成功した木村さん。「奇跡のリンゴ」で紹介された、大地に真摯に向き合い、自然とともに生きようとするその姿勢は多くの方の反響を呼びました。リンゴについて、家族について、人間の生き方について木村さんの生の声をつづった講演録です。



「野菜の裏側—本当に安全でおいしい野菜の選び方」

河名 秀郎 (かわな ひでお) 東洋経済新聞社 分類615



私たちが毎日食べる野菜。その野菜は安全で美味しいといえるでしょうか。「有機農法」と「自然農法」の違いとはなんでしょう。家族のために、自分のためにと選んでいる野菜の裏側はいったいどうなっているのでしょうか。生産者にも消費者にも知って欲しい野菜の実態が書かれた本です。

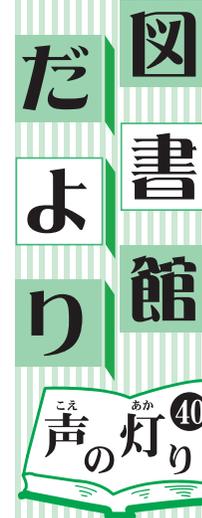
「究極の田んぼ—耕さず肥料も農薬も使わない農業」

石澤 信夫 (いしざわ のぶお) 日本経済出版新聞社 分類616

田んぼを耕さず、冬にも水を張ることで、多収種の稲を栽培することに成功した石澤さん。変わり者といわれながら、長年の試行錯誤と努力によって、肥料も農薬も使わない農業に成功しました。田んぼが変わり、人が変わり、農村が豊かになっていく。それは環境を大きく変える原動力となりました。



「矢部高生 図書館クリスマス会で大活躍！」



12月25日図書館

本館にて「図書館クリスマス会」が開催されました。

はじめに矢部高校日本拳法部のみなさんが、ハンドベルで「ジングルベル」を演奏してくれました。クリスマス



マスの気分が高まった所で、みんなの手遊びを楽しみました。パネルシアターは「あわてんぼうのサンタクロース」。楽しいリズムに合わせ、歌う子どもたちもいました。絵本の読み語りは「メリークリスマスおさるのジョージ」です。また、手品のコーナーではコップの水が一瞬にして氷に！ ふしぎな手品にみんな大喜び。そして、鈴の音が聞こえると…サンタクロースが登場！ 会場から大きな歓声があがりました。サンタさんからクリスマスや冬休みに親子で楽しんでくださいと、絵本のプレゼントが贈られました。そし

て、クリスマス会に遊びに来てくれたみなさんに矢部高校家庭科クラブのみなさんから可愛い手作りのクリスマスプレゼントが贈られました。雪がちらつく中、113人の方にお越し頂きとても楽しいクリスマス会となりました。



中島小学校にて

紙芝居「通潤橋物語 水が渡る橋」が町内の学校へ配布されました

山都町の子どものためにと製作された紙芝居が、町内すべての保育園・小学校・中学校へ配布されました。町内の子どもたちに馴染み深い「通潤橋」が、なぜ必要だったのか、誰の手によって作られたのか、その仕組みはどうなっているのか。この紙芝居を実際に読んで、今につながる歴史を学んで欲しいと思います。

蘇陽小で 絵本の読み語り



蘇陽小学校で子どもたちが絵本に親しむ機会をと、絵本「きつねのホイテ」の読み語りがありました。スリランカのお話で、きつねと三人の女性が知恵比べをするとても楽しいお話です。きつねのホイテと、三人の女性のセリフを松永教頭先生・江藤先生・工藤先生・高本先生が読みました。愉快なお話と、先生方の演技でみんな楽しくお話を聞きました。子どもたちがより絵本に興味を持ち、お話が好きな読書活動ではないかと思いました。